



ASICON2019 参加報告書

群馬大学大学院 理工学府 理工学専攻
電子情報・数理教育プログラム
小林研究室 修士1年 阿部優大

● 参加学会

2019 13th IEEE International Conference on ASIC (ASICON2019)

<http://www.asicon.org/>



● 開催場所

Hilton Hotel Chongqing China (中国 重慶 ヒルトンホテル)



中国 重慶市



学会会場のヒルトンホテル

● スケジュール

2019 年 10 月 28 日(月) 羽田発 重慶着
10 月 29 日(火) 重慶大学訪問&観光
10 月 30 日(水) ASICON2019 Opening & Keynote & Session
10 月 31 日(木) ASICON2019 Session
11 月 1 日(金) ASICON2019 Session & Banquet
11 月 2 日(土) 重慶市内観光
11 月 3 日(日) 重慶発 羽田着

● 学会情報

ASICON は IEEE（米国電気学会）および名門 復旦大学主催の中国最大の集積回路関係の国際会議で、テーマはデバイス、回路、テスト、モデリングなど幅広くカバーしている。本会議は 1994 年から隔年で開催しており、今年で 13 回目を迎え中国重慶市で開催された。この国際会議では世界中から多くの研究者を招聘してのキーノート講演・招待講演で先端技術情報を提供し、一般講演では大学院生が主体になり発表を行うことで、この分野の人材を育成している。また、群馬大学からは 2 件の招待講演発表と 15 件の口頭発表(採択率 35%)を行った。

● 学会参加報告

筆者の発表テーマは “Frequency Estimation Sampling Circuit Using Analog Hilbert Filter and Residue Number System”（アナログヒルベルトフィルタと剰余系システムを用いた波数推定サンプリング回路）である。1 日目の「Session A2: Signal Processing」にて発表を行った。このセッションでは 7 件の口頭発表のうち、4 件が小林研究室の発表であった。筆者は発表時間 10 分、質疑応答 2 分程度の全 12 分の構成であった。筆者はこの発表で、最終日のバンケットにて「Excellent Student Paper Award」を受賞した。海外で開催される国際会議に参加し、日本語が全く通じない環境で発表や質疑応答をすることで、英語でのコミュニケーション能力の重要性を改めて実感した。

● 重慶市内観光

重慶市は中国でも内陸に位置し、上海から飛行機で 2 時間程度の時間を要した。東京から上海までも飛行機で 2 時間半程度の時間がかかったため、中国の広さを感じた。重慶の空港からホテルまでは車で 40 分程度であった。宿泊ホテルと会場のヒルトンホテルまでは徒歩 1 分の距離であり、非常に良いコンディションで会場に向かうことが出来た。ホテルの周辺には飲食店が多く点在し、重慶名物の火鍋を堪能することが出来た。また、重慶大学を訪問し、大学内の様子を見学させて頂いたり、お互いの大学を紹介するなどの交流を行ったりした。同大学のご厚意にて昼食を御馳走になった。他にも長江のクルージングや、ロープウェ

イ、歴史博物館などの場所を見学・観光した。日本では食べることの出来ない本格的な四川料理や街の雰囲気を感じ、数多くの貴重な経験をする事が出来た。

● 謝辞

今回論文発表のために研究から発表までのご指導を頂いた小林春夫教授、学会参加のサポートをして頂いた桑名杏奈助教、研究室の諸先輩後輩方、旅行のスケジュールを組んで頂き、現地での案内をしてくださった中国人留学生の皆様感謝を申し上げます。



重慶大学訪問



長江クルージング



学会の様子



Excellent Student Paper Award を受賞しました



長江ロープウェイ



歴史博物館見学



重慶での食事の様子